

自己評価票

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|--------------------|--|---|--------------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 職員全員で施設の理念をつくりあげている。 | 0 | 理念は状況の変化に対応できるよう見直していく。 |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 朝の朝礼、ミーティング時には毎日のように話題にして、それに向かって意識を高められるように努めている。今何ができるか何ができないのか確認しながら取り組んでいる。 | 0 | |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 面会時などの機会には話題にして理解してもらえるようにしている。地域に対しては広報、陽だまり倶楽部通信、来園時などを利用して話し合うようにしている。 | 0 | 運営推進会議にも意見を聞く機会をつくっている。今後もさらに浸透できるように検討していく。 |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | お茶に誘ったり、顔を合わせるたびに声をかけたりしている。近隣への散歩では会う機会が少なく会話ができない状態。 | 0 | 今後も地域の人達への働きかけを行っていく。 |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域活動への参加はまだ行っていない。 | 0 | 地区行事や高齢者クラブ等への参加などを検討している。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|---|------------------------|--|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 広報「陽だまり倶楽部」を利用、少しでも役に立つ記事を載せて読んでもらえるように取り組み始めている。 | 0 | 地域を理解し、施設を理解してもらえるように少しずつ取り組んでいく。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価票を良く読み理解できるように毎日話題にしている。 | 0 | 利用者の満足を目標にして試行錯誤で取り組んでいる。 |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 12月11日、運営推進会議を開催する。 | | 地域の意見を聞き参考にして取り入れていく。継続して親しく交流し支援してもらえるような環境をつくっていく。 |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村担当者と話し合い、意見を聞いたり指導を受けたりしている。 | 0 | 気軽に相談できる機会を増やしていく。 |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 制度については研修で承知している。現在は活用していない。 | 0 | 必要に応じて活用できるようにしていく。 |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待行為の分類と具体例を確認し、虐待への意識を高め虐待防止に努めている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時にはできるだけ説明している。解約時にも相談に乗り話し合って納得が得られるようにしている。 | |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者の意見を聞く機会をつくっている。家族には面会時に意見をきいている。面会にはできるだけ居室で行い家族や他の人と自由に話す機会をつくっている。本人の気持ちを最大限尊重して日常の関わりに生かしている。 | |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時には報告している。月に1回郵便で写真などを送って様子を見てもらっている。 | 0 広報「陽だまり倶楽部」の発行を継続し送って読んでもらう。施設生活に対する理解を深め家族との温かい絆を保っていけるようにしていく。 |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情受付箱を設置している。できるだけ話しやすい雰囲気心を心がけている。意見や不満等を受け検討する場を設けている。 | 0 苦情の受付はまだないが、気軽に話してもらえるように話しやすい雰囲気を心がけていく。 |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 朝のミーティングには意見を聞く機会を設けている。意見を反映させている。 | 0 話し合う機会を多く持っている。今後も継続していく。 |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 要望に対応できるよう話し合い調整している。 | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---|
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の移動はまだ行われていない。 | 0 | 職員の研修、育成をしていく。利用者に対しては職員が変わるダメージを防ぐ配慮をしていく。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 計画的な外部研修は行っていない。園内での研修は行っている。 | 0 | 園内研修とともに働きながらトレーニングしていく。外部の研修を実施していく。 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 医師、看護師とは必要性に応じて対応できるよう、他の施設等の利用に関する商法交換を行っている。 | 0 | 同業者と交流する機会を持ちサービス向上に努めていく。 |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 昼休みは多く取れる体制をつくっている。 | 0 | 気兼ねなく休める場所を工夫していく。仕事を離れお茶や会食などリラックスできる機会を設け、ストレスの解消ができるようにする。 |
| 22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 職員の状況により勤務体制を柔軟に調整している。 | 0 | 施設外研修を計画的に実施していく。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|--|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 顔を合わせ話す機会をつくり、少しずつ信頼関係を築いていけるようにしている。 | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談時には家族の気持ちを受け止め、話を聴いている。安心できるよう努めている | 0 家族等の思いを引き出せるように話しやすい雰囲気心を心がけていく。 |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人にとって何が必要なのか、本人と家族と一緒に考え相談している。いくつかの方法を話し合っている。選択できるように心がけている。 | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 現在は家族の希望もあって、見学時の相談で本人家族の納得により入居している。 | 0 入居前から何度か見学し、少しずつ雰囲気に慣れる機会を相談していきたい。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 日常のさまざまな場面で意見を聞いたり教えてもらったり一緒に楽しんだりしている。趣味活動、おしゃべり、遊び、家族関係など生活全般について気軽に話し合い、支えあう関係の構築に努めている。 | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|---|
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 家族にできる支援の機会を作っている。面会や行事などへの参加ができるようにしている。家族との関係をを大事にして絆を深め安心して暮らせる環境を整えるように努めている。 | 0 | 外泊ができるよう相談し、できるだけ双方に負担を最小限にできる方法を一緒に検討し実行している。今後もさらによりよい方法を見つけていく。 |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 家族との面会時に状況を見ながら、本人、家族の気持ちを聞き絆を保ち深められるよう支援している | 0 | 行事などに家族が参加できるようにしている。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 暮れから正月にかけて外泊を計画して、自宅で友人と過ごす機会をつくった。 | 0 | 外泊は家族の負担があり、本人の負担にもなることがあるため時期をよく検討して計画していく。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者の個性を尊重し、場所や場面に応じてよい関係ができるよう環境を整えるように努めている。 | 0 | お茶の時間にはおしゃべりをして30分ほど一緒に過ごすようにしている。日常的に話し相手になり相手に気持ちが伝わるように関係を支援している。遊びやゲームなどを通して親しくなれるように取り組んでいる。 |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退所した利用者に対しては電話や自宅を訪問するなどしている。 | 0 | 状況に応じた支援方法を考えていく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人の意向を確認し、できるだけ自由な環境を心がけている。思いや希望を把握できるよう信頼関係を構築できるように努めている。 | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 可能な限り家族や本人、関係者に聞き取りにて把握している。不十分のところは徐々に暮らしの中から把握していく。 | 0 日々の暮らしの中でその人らしき暮らし方など掌握していく。随時関係者からの聞き取りも継続し把握に努める。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 日常生活を見守り、情報交換を行っている。 | 0 利用者の情報に対する理解を深めるためにミーティングなどに時間を多く使っている。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ミーティングや検討会儀にて話し合っている。本人にも意見や希望を聞き取り組んでいる。 | 0 本人の気持ちを引き出せるように介護方法を工夫して日常生活の活性化につなげていく。本人の満足のいくことを目標にする。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 良くなったことで見直しをしている。対応できない変化に応じた見直しも必要に応じて行って生きたい。 | 0 現状に即した見直しを随時に行っていく。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------------------------|--|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護日誌、ケース記録に記録している。毎日のミーティングで話し合い共有できるようにして介護計画の見直しに活かせるように取り組んでいる。 | 0 | 記録は勉強中である。不十分のところは今後も改善しながら介護計画に活かしていく取り組みを継続する。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 緊急時や必要に応じて施設機能、資源を有効に生かせるよう支援していく。 | 0 | 家族が宿泊できるように準備している。本人や家族の要望に対応できるように、相談に応えられるように随時検討する。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 民生委員、区長には運営推進会議の委員として相談している。警察、消防には支援連携を依頼している。教育機関等との関係はできていない。 | 0 | 状況に応じ、今後は学校生徒、児童との交流も受け入れられるように検討していく。 |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 現在は行っていない。医師や看護師とは本人の必要性に応じて他施設等の利用に関しての情報交換を行っている。 | 0 | 地域の他のケアマネジャーとの連絡を行っている。情報交換を行い必要に応じて活用できるようにしていく。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等についての協働は行っていない。 | 0 | 利用者が増え、その必要性に応じて取り組めるようにしていきたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|-------------------------------------|
| 43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力病院と連携している。訪問診療を利用している。医師とは良い関係を築いており納得の得られる支援をしている。 | 0 | 今後もさらに適切な医療が受けられるように支援していく。 |
| 44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 協力病院の医師と長期にわたり関係を築いており、安心して相談ができています。 | 0 | 利用者の安心のため今後もさらに連携していく。 |
| 45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 常時相談できる体制ができています。電話や直接会って話をしている。 | 0 | 訪問診療時には相談したり意見を聴いたり、親しくお茶を飲み交流している。 |
| 46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 病院関係者との連携体制は整っている。利用者の入院にはまだ至っていない。 | 0 | 病院関係者、医師看護師との連携を保っていく。 |
| 47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 協力病院の医師と日ごろから話し合っている。本人家族とは終末期は病院でとの確認をしている。 | 0 | 今後状態に応じて機会を持ち、話し合っ方針を共有していく。 |
| 48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | かかりつけ医とは日ごろから状態に応じた支援方法を話題にして検討している。 | 0 | 病院関係者、医師看護師との連携を保っていく。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|---|-------------------------|--|
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている | 退所事前に本人や家族と話し合い日常生活状況や 退所後の注意すべき事項、継続が必要なことなど 情報を交換し伝達している。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない | プライバシーについては特に意識を高くもち業務 に当たるよう毎日のように話し合っている。 | 0 | 言葉づかいや態度、記録の方法などは経験と勉強 によりさらに研究していく。 |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている | 本人本位に本人の満足を目的にケアのあり方を考 えている。安心して話し合える関係になることを 心がけている。 | 0 | 介護方法に疑問や問題があれば随時話し合い検討 して理解できるように努めていく。 |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している | 本人の気持ちを優先し一人ひとりの暮らし方を大 切にして見守りを行っている。楽しみを見つけれ るように少しずつ試行している。 | 0 | できることとできないことの見極めができるよ う、経験を積みながら話し合い検討し支援してい く。楽しみを試行し見つけていく取り組みを継続 していく。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている | 身支度は本人の好きなように見守っている。理容 美容は美容の経験のある職員が散髪などを行っ ている。本人も希望している。 | 0 | 本人の希望に応じて理容美容店へ行けるよう、多 様に選択できるようにしていく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|------------------------|--------------------------------|
| 54 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | 0 | 利用者の状態に応じてできることを見つけられるようにしていく。 |
| 55 | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | | |
| 56 | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | | |
| 57 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | | |
| 58 | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|-------------------------|--|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人の状態に応じてお金の管理ができるようにしている。買い物も自分で支払いができるようにしている。 | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近隣への散歩、近くの堤防までドライブして田んぼの風景や川の様子を見ながら散歩したりしている。 | 0 | 他の場所へ出かけて行って散歩するようなことも続けていく。(ドライブして) |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 生家のお墓参りを実施している。一緒に施設で生活し退所した人の自宅へ遊びにしている。外出行事は実施している。外泊も随時行っている。 | 0 | 希望があれば随時検討していく。必要に応じて働きかけを行い親しい人たちとの絆を大切にしていく。 |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話はしている。手紙は現在は利用者が望んでいないため支援していない。 | 0 | 本人の気持ちに添って実施していく。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会時は水入らずで居室でゆっくり過ごせるように見守っている。他の人たちとも交流できるようにしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は禁止している。身体拘束のない介護のための指針を職員が理解できるようにしている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|------------------------------------|
| 66 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | | |
| 67 | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | 0 | 見守りの方法は経験を積みながら状態に対応できるよう研究していく。 |
| 68 | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | | |
| 69 | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | 0 | 事故防止、火災防止には常に職員の意識を高められるよう話し合っていく。 |
| 70 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | 0 | 応急手当や初期対応の訓練を定期的に継続していく。 |
| 71 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---|
| 72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 転倒等の危険性については随時家族に説明し自然な暮らし方ができるよう努めている。職員はその危険性を理解して見守りができるよう常に話し合っている。 | 0 | 家族との話し合いは随時継続していく。できる限りの工夫と対策を検討していく。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | いつもとは違う状態の気付きには報告し相談することを常に話し合っている。 | 0 | 朝のミーティングで他の人の意見を聞き職員全員で検討している。ミーティングでは情報の共有と認知症高齢者の日常生活全般についての支援、介護方法等園内研修の意味も含めて取り組んでいる。 |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 受診後は情報を確認している。処方箋は必ず確認できるようケース記録にファイルしている。服薬管理マニュアルを作り服薬時の安全に取り組んでいる。医師や看護師には口頭と状態により必要に応じて記録を渡している。 | | |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 現在は習慣的な便秘は見られない。野菜を多く摂取できるよう心がけている。水分補給や体を動かすことも生活リハとしてできるだけ行えるよう見守っている。軽い体操や散歩へも働きかけにより少しずつ参加できるようになってきている。 | 0 | 日常生活のなかで便秘をしないで生活していけるよう、食事や水分、運動など工夫していく。 |
| 76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 朝夕は歯磨き、昼食後はうがい、夕食後は義歯洗浄剤の使用もおこなっている。 | | |
| 77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 体調や状況に応じて随時食事摂取量の見守りを行っている。一人ひとりの好みや食べたいものを聴いたりして検討している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | 感染症予防についての情報を全員で共有できるようにしている。感染症予防マニュアルを作成している。 | 0 | 多様な感染症についても予防対策の意識を高めていく。 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 布巾、まな板などは毎日キッチンハイターで滅菌している。食材については新鮮なものを使用することに努めている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関や出入り口付近に草花や飾り物を置き雰囲気を使っている。庭には草花や野草、野菜などをつくり眺められるようにしている。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | コーナーにグリーンや季節の花を生けたり飾ったりしている。季節の行事などを取り入れて雰囲気を感じられるしつらえを心がけている。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食堂兼居間は自由な場所としてそれぞれに居場所ができるのを見守り、居心地の良い関係ができるようにしている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|------------------------|---|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している | 0 | できることとできないことの見極めができるよ う、経験を積みながら話し合い検討し支援してい く。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|------------------|--|--|
| 項目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|-----|---|--|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご利用者がのびのびと自由に自分らしく安心して生活ができる環境づくりに取り組んでいます。
 農村の静かな自然に恵まれて自家野菜を新鮮でおいしく提供できるよう出来(産)の手作りに
 こたゆて喜ばれる食事作りを行っています。
 季節の移り変わりが感じられ、ゆったりとした流れのなかで少しずつ楽しみを見つけられるよう支援して
 いきたいと思えます。